

Q001 ○ × | 乙6

消防設備士乙種第6類の対象設備は、消火器である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：第6類は消火器を対象とする乙種のための類別。

要点：乙6

Q002 ○ × | 乙6 / 類別

消防設備士第6類には、甲種と乙種の両方がある。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消防設備士第6類は、乙種のみである。

要点：乙6 / 類別

Q003 4択 | 業務範囲

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 乙種第6類免状では、消火器の整備・点検が業務範囲となる。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：3. 乙種第6類免状では、消火器の整備・点検が業務範囲となる。

解説：乙種は対象設備の整備・点検を扱う。

要点：業務範囲

Q004 ○ × | 消火器

消火器は、火災初期の消火に用いられる代表的な消防用設備等である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：消火器は初期消火のための機器で、警報を発する受信機ではない。

要点：消火器

Q005 ○ × | 学習

第6類の学習では、消火薬剤の種類を一切扱わない。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。第6類の学習では、消火器本体・消火薬剤・加圧方式・点検整備を関連づけて理解する必要がある。

要点：学習

Q006 4択 | 適応火災

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認6）

1. 消火器は、適応火災の表示を確認して設置・点検することが重要である。
2. 消火器は、すべての火災に同じ効果を必ず発揮するため適応火災の確認は不要である。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。

答え・解説

正答：1. 消火器は、適応火災の表示を確認して設置・点検することが重要である。

解説：普通火災・油火災・電気火災など、薬剤により適応が異なる。

要点：適応火災

Q007 ○× | 点検

消火器の点検では、設置場所、表示、外観、圧力状態、ホース・ノズルの状態などを確認する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：消火器は外観・圧力・部品状態などの確認が重要。

要点：点検

Q008 ○× | 鑑別

第6類の鑑別では、消火器の部品名称は一切問われない。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。第6類の鑑別では、部品名称や不良状態の判定が出題対象になりやすい。

要点：鑑別

Q009 4択 | 出題範囲

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認9）

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 消防設備士乙種第6類の筆記は、法令、機械基礎、構造・機能・整備に分かれる。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消防設備士乙種第6類の筆記は、電気理論だけで構成される。

答え・解説

正答：2. 消防設備士乙種第6類の筆記は、法令、機械基礎、構造・機能・整備に分かれる。

解説：乙6は機械に関する基礎知識が中心。

要点：出題範囲

Q010 ○× | 整備

消火器の整備では、使用済み・圧力不足・腐食などの不良を見逃さないことが重要である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：使用済みや圧力不足は機能不良につながるため整備・交換の対象。

要点：整備

Q011 ○ × | 安全栓

消火器の安全栓は、消火薬剤を火元へ噴射する先端部である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。

要点：安全栓

Q012 4択 | ホース / ノズル

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認12）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. ホースやノズルが詰まっても、消火器の放射性能には影響しない。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

答え・解説

正答：4. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

解説：薬剤の通り道の不良は放射不良につながる。

要点：ホース / ノズル

Q013 ○ × | 蓄圧式

蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：蓄圧式は容器内の圧力で薬剤を放射する。

要点：蓄圧式

Q014 ○ × | 加圧式

加圧式消火器は、圧力を一切使わず薬剤を自然落下させる。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。

要点：加圧式

Q015 4択 | 乙6

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認15）

1. 消防設備士乙種第6類の対象設備は、消火器である。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：1. 消防設備士乙種第6類の対象設備は、消火器である。

解説：第6類は消火器を対象とする乙種のための類別。

要点：乙6

Q016 ○ × | 乙6 / 類別

消防設備士第6類は、乙種のみである。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：公式の免状種類表では、第6類は乙種として消火器が示されている。

要点：乙6 / 類別

Q017 ○ × | 業務範囲

乙種第6類免状だけで、消火器の設計・建築確認を行える。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。乙種第6類免状では、消火器の整備・点検が業務範囲となる。

要点：業務範囲

Q018 4択 | 消火器

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認18）

1. 消火器は、火災初期の消火に用いられる代表的な消防用設備等である。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：1. 消火器は、火災初期の消火に用いられる代表的な消防用設備等である。

解説：消火器は初期消火のための機器で、警報を発する受信機ではない。

要点：消火器

Q019 ○ × | 学習

第6類の学習では、消火器本体・消火薬剤・加圧方式・点検整備を関連づけて理解する必要がある。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：消火器の構造・機能・薬剤・点検は乙6の中心分野。

要点：学習

Q020 ○ × | 適応火災

消火器は、すべての火災に同じ効果を必ず発揮するため適応火災の確認は不要である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器は、適応火災の表示を確認して設置・点検することが重要である。

要点：適応火災

Q021 4択 | 点検

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認21）

1. 消火器の点検では、本体容器の腐食や圧力状態を確認しない。
2. 消火器の点検では、設置場所、表示、外観、圧力状態、ホース・ノズルの状態などを確認する。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：2. 消火器の点検では、設置場所、表示、外観、圧力状態、ホース・ノズルの状態などを確認する。

解説：消火器は外観・圧力・部品状態などの確認が重要。

要点：点検

Q022 ○× | 鑑別

第6類の鑑別では、部品名称や不良状態の判定が出題対象になりやすい。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：鑑別等では名称・用途・異常判断が重要。

要点：鑑別

Q023 ○× | 出題範囲

消防設備士乙種第6類の筆記は、電気理論だけで構成される。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消防設備士乙種第6類の筆記は、法令、機械基礎、構造・機能・整備に分かれる。

要点：出題範囲

Q024 4択 | 整備

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認24）

1. 消火器の整備では、使用済み・圧力不足・腐食などの不良を見逃さないことが重要である。
2. 使用済みの消火器は、外観がきれいならそのまま再設置してよい。
3. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：1. 消火器の整備では、使用済み・圧力不足・腐食などの不良を見逃さないことが重要である。

解説：使用済みや圧力不足は機能不良につながるため整備・交換の対象。

要点：整備

Q025 ○× | 安全栓

消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：安全栓はレバーの不用意な作動を防ぐ部品。

要点：安全栓

Q026 ○ × | ホース / ノズル

ホースやノズルが詰まっても、消火器の放射性能には影響しない。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

要点：ホース / ノズル

Q027 4択 | 蓄圧式

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認27）

1. 蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：1. 蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。

解説：蓄圧式は容器内の圧力で薬剤を放射する。

要点：蓄圧式

Q028 ○ × | 加圧式

加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：加圧式は操作時のガス加圧で薬剤を押し出す。

要点：加圧式

Q029 ○ × | 乙6

消防設備士乙種第6類の対象設備は、自動火災報知設備である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消防設備士乙種第6類の対象設備は、消火器である。

要点：乙6

Q030 4択 | 乙6 / 類別

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認30）

1. 消防設備士第6類は、乙種のみである。
2. 消防設備士第6類には、甲種と乙種の両方がある。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：1. 消防設備士第6類は、乙種のみである。

解説：公式の免状種類表では、第6類は乙種として消火器が示されている。

要点：乙6 / 類別

Q031 ○ × | 業務範囲

乙種第6類免状では、消火器の整備・点検が業務範囲となる。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：乙種は対象設備の整備・点検を扱う。

要点：業務範囲

Q032 ○ × | 消火器

消火器は、火災を自動検知して地区音響装置を鳴動させる警報設備である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器は、火災初期の消火に用いられる代表的な消防用設備等である。

要点：消火器

Q033 4択 | 学習

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認33）

1. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 第6類の学習では、消火薬剤の種類を一切扱わない。
4. 第6類の学習では、消火器本体・消火薬剤・加圧方式・点検整備を関連づけて理解する必要がある。

答え・解説

正答：4. 第6類の学習では、消火器本体・消火薬剤・加圧方式・点検整備を関連づけて理解する必要がある。

解説：消火器の構造・機能・薬剤・点検は乙6の中心分野。

要点：学習

Q034 ○ × | 適応火災

消火器は、適応火災の表示を確認して設置・点検することが重要である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：普通火災・油火災・電気火災など、薬剤により適応が異なる。

要点：適応火災

Q035 ○ × | 点検

消火器の点検では、本体容器の腐食や圧力状態を確認しない。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の点検では、設置場所、表示、外観、圧力状態、ホース・ノズルの状態などを確認する。

要点：点検

Q036 4択 | 鑑別

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認36）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 第6類の鑑別では、部品名称や不良状態の判定が出題対象になりやすい。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：3. 第6類の鑑別では、部品名称や不良状態の判定が出題対象になりやすい。

解説：鑑別等では名称・用途・異常判断が重要。

要点：鑑別

Q037 ○× | 出題範囲

消防設備士乙種第6類の筆記は、法令、機械基礎、構造・機能・整備に分かれる。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：乙6は機械に関する基礎知識が中心。

要点：出題範囲

Q038 ○× | 整備

使用済みの消火器は、外観がきれいならそのまま再設置してよい。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の整備では、使用済み・圧力不足・腐食などの不良を見逃さないことが重要である。

要点：整備

Q039 4択 | 安全栓

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認39）

1. 消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消火器の安全栓は、消火薬剤を火元へ噴射する先端部である。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：1. 消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。

解説：安全栓はレバーの不用意な作動を防ぐ部品。

要点：安全栓

Q040 ○× | ホース / ノズル

消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：薬剤の通り道の不良は放射不良につながる。

要点：ホース / ノズル

Q041 ◯ × | 蓄圧式

蓄圧式消火器は、使用時に初めて外部ポンプで水を注入する方式である。この記述は正しいか。

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。

要点：蓄圧式

Q042 4択 | 加圧式

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認42）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 加圧式消火器は、圧力を一切使わず薬剤を自然落下させる。
4. 加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。

答え・解説

正答：4. 加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。

解説：加圧式は操作時のガス加圧で薬剤を押し出す。

要点：加圧式

Q043 ◯ × | 乙6

消防設備士乙種第6類の対象設備は、消火器である。【43】この記述は正しいか。

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：◯

解説：第6類は消火器を対象とする乙種のための類別。

要点：乙6

Q044 ◯ × | 乙6 / 類別

消防設備士第6類には、甲種と乙種の両方がある。【44】この記述は正しいか。

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消防設備士第6類は、乙種のみである。

要点：乙6 / 類別

Q045 4択 | 業務範囲

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認45）

1. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 乙種第6類免状では、消火器の整備・点検が業務範囲となる。
4. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。

答え・解説

正答：3. 乙種第6類免状では、消火器の整備・点検が業務範囲となる。

解説：乙種は対象設備の整備・点検を扱う。

要点：業務範囲

Q046 ○ × | 消火器

消火器は、火災初期の消火に用いられる代表的な消防用設備等である。【46】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：消火器は初期消火のための機器で、警報を発する受信機ではない。

要点：消火器

Q047 ○ × | 学習

第6類の学習では、消火薬剤の種類を一切扱わない。【47】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。第6類の学習では、消火器本体・消火薬剤・加圧方式・点検整備を関連づけて理解する必要がある。

要点：学習

Q048 4択 | 適応火災

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認48）

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 消火器は、適応火災の表示を確認して設置・点検することが重要である。

答え・解説

正答：4. 消火器は、適応火災の表示を確認して設置・点検することが重要である。

解説：普通火災・油火災・電気火災など、薬剤により適応が異なる。

要点：適応火災

Q049 ○ × | 点検

消火器の点検では、設置場所、表示、外観、圧力状態、ホース・ノズルの状態などを確認する。【49】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：消火器は外観・圧力・部品状態などの確認が重要。

要点：点検

Q050 ○ × | 鑑別

第6類の鑑別では、消火器の部品名称は一切問われない。【50】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。第6類の鑑別では、部品名称や不良状態の判定が出題対象になりやすい。

要点：鑑別

Q051 4択 | 出題範囲

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認51）

1. 消防設備士乙種第6類の筆記は、電気理論だけで構成される。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 消防設備士乙種第6類の筆記は、法令、機械基礎、構造・機能・整備に分かれる。

答え・解説

正答：4. 消防設備士乙種第6類の筆記は、法令、機械基礎、構造・機能・整備に分かれる。

解説：乙6は機械に関する基礎知識が中心。

要点：出題範囲

Q052 ○× | 整備

消火器の整備では、使用済み・圧力不足・腐食などの不良を見逃さないことが重要である。【52】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：使用済みや圧力不足は機能不良につながるため整備・交換の対象。

要点：整備

Q053 ○× | 安全栓

消火器の安全栓は、消火薬剤を火元へ噴射する先端部である。【53】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。

要点：安全栓

Q054 4択 | ホース / ノズル

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認54）

1. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。
2. ホースやノズルが詰まっても、消火器の放射性能には影響しない。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：1. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

解説：薬剤の通り道の不良は放射不良につながる。

要点：ホース / ノズル

Q055 ○× | 蓄圧式

蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。【55】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：蓄圧式は容器内の圧力で薬剤を放射する。

要点：蓄圧式

Q056 ○ × | 加圧式

加圧式消火器は、圧力を一切使わず薬剤を自然落下させる。【56】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。

要点：加圧式

Q057 4択 | 乙6

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認57）

1. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 消防設備士乙種第6類の対象設備は、消火器である。
4. 消防設備士乙種第6類の対象設備は、自動火災報知設備である。

答え・解説

正答：3. 消防設備士乙種第6類の対象設備は、消火器である。

解説：第6類は消火器を対象とする乙種のための類別。

要点：乙6

Q058 ○ × | 乙6 / 類別

消防設備士第6類は、乙種のみである。【58】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：公式の免状種類表では、第6類は乙種として消火器が示されている。

要点：乙6 / 類別

Q059 ○ × | 業務範囲

乙種第6類免状だけで、消火器の設計・建築確認を行える。【59】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。乙種第6類免状では、消火器の整備・点検が業務範囲となる。

要点：業務範囲

Q060 4択 | 消火器

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認60）

1. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
2. 消火器は、火災初期の消火に用いられる代表的な消防用設備等である。
3. 消火器は、火災を自動検知して地区音響装置を鳴動させる警報設備である。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：2. 消火器は、火災初期の消火に用いられる代表的な消防用設備等である。

解説：消火器は初期消火のための機器で、警報を発する受信機ではない。

要点：消火器

Q061 ○ × | 学習

第6類の学習では、消火器本体・消火薬剤・加圧方式・点検整備を関連づけて理解する必要がある。【61】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：消火器の構造・機能・薬剤・点検は乙6の中心分野。

要点：学習

Q062 ○ × | 適応火災

消火器は、すべての火災に同じ効果を必ず発揮するため適応火災の確認は不要である。【62】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器は、適応火災の表示を確認して設置・点検することが重要である。

要点：適応火災

Q063 4択 | 点検

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認63）

1. 消火器の点検では、設置場所、表示、外観、圧力状態、ホース・ノズルの状態などを確認する。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 消火器の点検では、本体容器の腐食や圧力状態を確認しない。

答え・解説

正答：1. 消火器の点検では、設置場所、表示、外観、圧力状態、ホース・ノズルの状態などを確認する。

解説：消火器は外観・圧力・部品状態などの確認が重要。

要点：点検

Q064 ○ × | 鑑別

第6類の鑑別では、部品名称や不良状態の判定が出題対象になりやすい。【64】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：鑑別等では名称・用途・異常判断が重要。

要点：鑑別

Q065 ○ × | 出題範囲

消防設備士乙種第6類の筆記は、電気理論だけで構成される。【65】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消防設備士乙種第6類の筆記は、法令、機械基礎、構造・機能・整備に分かれる。

要点：出題範囲

Q066 4択 | 整備

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認66）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 使用済みの消火器は、外観がきれいならそのまま再設置してよい。
3. 消火器の整備では、使用済み・圧力不足・腐食などの不良を見逃さないことが重要である。
4. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。

答え・解説

正答：3. 消火器の整備では、使用済み・圧力不足・腐食などの不良を見逃さないことが重要である。

解説：使用済みや圧力不足は機能不良につながるため整備・交換の対象。

要点：整備

Q067 ○× | 安全栓

消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。【67】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：安全栓はレバーの不用意な作動を防ぐ部品。

要点：安全栓

Q068 ○× | ホース / ノズル

ホースやノズルが詰まっても、消火器の放射性能には影響しない。【68】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

要点：ホース / ノズル

Q069 4択 | 蓄圧式

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認69）

1. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。

答え・解説

正答：4. 蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。

解説：蓄圧式は容器内の圧力で薬剤を放射する。

要点：蓄圧式

Q070 ○× | 加圧式

加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。【70】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：加圧式は操作時のガス加圧で薬剤を押し出す。

要点：加圧式

Q071 ◯ × | 乙6

消防設備士乙種第6類の対象設備は、自動火災報知設備である。【71】この記述は正しいか。

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消防設備士乙種第6類の対象設備は、消火器である。

要点：乙6

Q072 4択 | 乙6 / 類別

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認72）

1. 消防設備士第6類は、乙種のみである。
2. 消防設備士第6類には、甲種と乙種の両方がある。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：1. 消防設備士第6類は、乙種のみである。

解説：公式の免状種類表では、第6類は乙種として消火器が示されている。

要点：乙6 / 類別

Q073 ◯ × | 業務範囲

乙種第6類免状では、消火器の整備・点検が業務範囲となる。【73】この記述は正しいか。

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：◯

解説：乙種は対象設備の整備・点検を扱う。

要点：業務範囲

Q074 ◯ × | 消火器

消火器は、火災を自動検知して地区音響装置を鳴動させる警報設備である。【74】この記述は正しいか。

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器は、火災初期の消火に用いられる代表的な消防用設備等である。

要点：消火器

Q075 4択 | 学習

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認75）

1. 第6類の学習では、消火器本体・消火薬剤・加圧方式・点検整備を関連づけて理解する必要がある。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。

答え・解説

正答：1. 第6類の学習では、消火器本体・消火薬剤・加圧方式・点検整備を関連づけて理解する必要がある。

解説：消火器の構造・機能・薬剤・点検は乙6の中心分野。

要点：学習

Q076 ○ × | 適応火災

消火器は、適応火災の表示を確認して設置・点検することが重要である。
【76】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：普通火災・油火災・電気火災など、薬剤により適応が異なる。

要点：適応火災

Q077 ○ × | 点検

消火器の点検では、本体容器の腐食や圧力状態を確認しない。【77】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の点検では、設置場所、表示、外観、圧力状態、ホース・ノズルの状態などを確認する。

要点：点検

Q078 4択 | 鑑別

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認78）

1. 第6類の鑑別では、部品名称や不良状態の判定が出題対象になりやすい。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：1. 第6類の鑑別では、部品名称や不良状態の判定が出題対象になりやすい。

解説：鑑別等では名称・用途・異常判断が重要。

要点：鑑別

Q079 ○ × | 出題範囲

消防設備士乙種第6類の筆記は、法令、機械基礎、構造・機能・整備に分かれる。【79】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：乙6は機械に関する基礎知識が中心。

要点：出題範囲

Q080 ○ × | 整備

使用済みの消火器は、外観がきれいならそのまま再設置してよい。【80】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の整備では、使用済み・圧力不足・腐食などの不良を見逃さないことが重要である。

要点：整備

Q081 4択 | 安全栓

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認81）

1. 消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：1. 消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。

解説：安全栓はレバーの不用意な作動を防ぐ部品。

要点：安全栓

Q082 ○× | ホース / ノズル

消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。
【82】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：薬剤の通り道の不良は放射不良につながる。

要点：ホース / ノズル

Q083 ○× | 蓄圧式

蓄圧式消火器は、使用時に初めて外部ポンプで水を注入する方式である。
【83】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。

要点：蓄圧式

Q084 4択 | 加圧式

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認84）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。

答え・解説

正答：4. 加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。

解説：加圧式は操作時のガス加圧で薬剤を押し出す。

要点：加圧式

Q085 ○× | 乙6

消防設備士乙種第6類の対象設備は、消火器である。【85】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：第6類は消火器を対象とする乙種のための類別。

要点：乙6

Q086 ○ × | 乙6 / 類別

消防設備士第6類には、甲種と乙種の両方がある。【86】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消防設備士第6類は、乙種のみである。

要点：乙6 / 類別

Q087 4択 | 業務範囲

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認87）

1. 乙種第6類免状だけで、消火器の設計・建築確認を行える。
2. 乙種第6類免状では、消火器の整備・点検が業務範囲となる。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：2. 乙種第6類免状では、消火器の整備・点検が業務範囲となる。

解説：乙種は対象設備の整備・点検を扱う。

要点：業務範囲

Q088 ○ × | 消火器

消火器は、火災初期の消火に用いられる代表的な消防用設備等である。【88】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：消火器は初期消火のための機器で、警報を発する受信機ではない。

要点：消火器

Q089 ○ × | 学習

第6類の学習では、消火薬剤の種類を一切扱わない。【89】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。第6類の学習では、消火器本体・消火薬剤・加圧方式・点検整備を関連づけて理解する必要がある。

要点：学習

Q090 4択 | 適応火災

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認90）

1. 消火器は、すべての火災に同じ効果を必ず発揮するため適応火災の確認は不要である。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
4. 消火器は、適応火災の表示を確認して設置・点検することが重要である。

答え・解説

正答：4. 消火器は、適応火災の表示を確認して設置・点検することが重要である。

解説：普通火災・油火災・電気火災など、薬剤により適応が異なる。

要点：適応火災

Q091 ○ × | 点検

消火器の点検では、設置場所、表示、外観、圧力状態、ホース・ノズルの状態などを確認する。【91】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：消火器は外観・圧力・部品状態などの確認が重要。

要点：点検

Q092 ○ × | 鑑別

第6類の鑑別では、消火器の部品名称は一切問われない。【92】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。第6類の鑑別では、部品名称や不良状態の判定が出題対象になりやすい。

要点：鑑別

Q093 4択 | 出題範囲

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認93）

1. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消防設備士乙種第6類の筆記は、法令、機械基礎、構造・機能・整備に分かれる。

答え・解説

正答：4. 消防設備士乙種第6類の筆記は、法令、機械基礎、構造・機能・整備に分かれる。

解説：乙6は機械に関する基礎知識が中心。

要点：出題範囲

Q094 ○ × | 整備

消火器の整備では、使用済み・圧力不足・腐食などの不良を見逃さないことが重要である。【94】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：使用済みや圧力不足は機能不良につながるため整備・交換の対象。

要点：整備

Q095 ○ × | 安全栓

消火器の安全栓は、消火薬剤を火元へ噴射する先端部である。【95】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。

要点：安全栓

Q096 4択 | ホース / ノズル

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認96）

1. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：1. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

解説：薬剤の通り道の不良は放射不良につながる。

要点：ホース / ノズル

Q097 ○ × | 蓄圧式

蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。【97】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：蓄圧式は容器内の圧力で薬剤を放射する。

要点：蓄圧式

Q098 ○ × | 加圧式

加圧式消火器は、圧力を一切使わず薬剤を自然落下させる。【98】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。

要点：加圧式

Q099 4択 | 乙6

消防関係法令：6類関係について、正しい記述はどれか。（確認99）

1. 消防設備士乙種第6類の対象設備は、消火器である。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消防設備士乙種第6類の対象設備は、自動火災報知設備である。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：1. 消防設備士乙種第6類の対象設備は、消火器である。

解説：第6類は消火器を対象とする乙種のための類別。

要点：乙6

Q100 ○ × | 乙6 / 類別

消防設備士第6類は、乙種のみである。【100】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：公式の免状種類表では、第6類は乙種として消火器が示されている。

要点：乙6 / 類別